

かわの版

発行 森藤右衛門を顕彰する会
代表 関口修
事務局 樋口信義
酒田市東栄町二二一-一
(電) 二八一八〇七九

山形新聞社の了解を得て、社説をそのまま転載させていただきます。ありがとうございました。

山形新聞 社説(4/4付)に掲載される

大学一右会新設
大森新設
文科の森が
公益研究に
三原研究室
東北三原衛門のコーナーが
されました



三原教授は本会の顧問です。三原研究室ホームページは、検索で「ようこそ三原研究室@ネットへ」からどうぞお入りください。

社説

明治初期、酒田県の課税方法に反発した庄内の農民らが蜂起した「ワッパ騒動」を指導した酒田商人で自由民権運動家の森藤右衛門を顕彰する会が先に酒田市中で発足した。森の命日の9月16日に顕彰碑の除幕式を行うことを目指し、広く賛同者を募っていくことにした。会は酒田東高に隣接する児童公園内の酒田県庁跡地を予定地として顕彰碑の建立事業を進めていくほか、事業費を確保するため、賛同者を募集することを決めた。

ワッパ騒動は、明治政府が1872(明治5)年8月、年貢を米で納める代わりに貨幣で納めることができる石代納を許可したが、旧庄内藩の士族が実権を握る酒田県はこれを伝えず、年々高騰していた米で納めさせては売却し、膨大な利益を得ていた。これに対し、農民らは「ワッパ(曲げ物の弁当箱)一杯分の金が返

森藤右衛門「顕彰する会」発足

ってくる」を合言葉に過納分の返還のほか、石代納の許可、雑税の廃止などを求める運動を各地で起こした。

そこで農民の良き理解者であった森は県政を問題視した建白書を左院に提出。間もなく酒田県令として着任した三島庸にも同様の書を出したが、却下されたため、元老院などに訴えたところ、建白

書の内容が新聞などに掲載され、ワッパ騒動は新しい自由民権運動として世間の注目を集めた。こうした中で元老院は関係者らの取り調べを開始。司法省は鶴岡で裁判を開廷し、農民勝訴とした。

森はその後、庄内初の政治結社「尽性社」を創設した。こうした功績から「西の板垣退助、東の森藤右衛門」とたたえ

後世に史実伝える責務

られ、79(明治12)年発行の「民権自由論」の表紙絵にも板垣らとともに掲載された。81年には酒田町戸長(現在の市長)、3年後には県議に当選したが、翌年9月に山形で病死した。

ワッパ騒動については、鶴岡市などの住民有志で構成される「ワッパ騒動義民顕彰会」(日塔哲之代表)が顕彰碑の建

立運動を展開し、2009年9月には義民の子孫ら120人を集め、市内で除幕式を行った。翌10年8月には同市藤島地域の八幡神社で地元顕彰会が顕彰碑の除幕式を行った。義民顕彰会は同年11月に「大地動く」蘇は顕彰碑建立を記念して「大地動く」蘇(よみがえ)る農魂」を刊行。この時点で判明している運動への参加者891人

の森らに顕彰する史実をきちんと研究していきたい」と意欲を燃やす。

森藤右衛門を顕彰する会の関口修会長は「ワッパ騒動についてはこれまで多少誤解していたところがあったが、知人から話を聞いていたうちに森という素晴らしい人間が酒田にいたということに気付いた。これはぜひ顕彰すべきと考え、みんなでの設立を計画した。9月には予定通り顕彰碑の除幕を行うつもりだ。今後、森らに関係する史実をきちんと研究していきたい」と意欲を燃やす。

設立総会に多くの報道陣

三月二十八日、総会会場にはテレビ1社、新聞5社が取材に訪れ、YBC山形放送は同日夕方のニュース番組で報じました。また、

三月二十九日付毎日新聞

森藤右衛門を見直そう

優れた自由民権運動家でありながら埋もれてしまった酒田市出身の森藤右衛門（1842〜85年）を顕彰する「森藤右衛門を顕彰する会」（関口修会長）が28日、発足した。同日は森藤右衛門生誕170年の記念すべき日。関係者らは活動を盛り上げ、森の命日である9月16日の碑建立を目指す。

【佐藤伸】

維新を遂げたものの内地方の農民らが一斉に依然として世情騒然に反発した。「納め過る72（明治5）年に、きた税金は農家1人に明治新政府は租税方法を改正。コメでは弁当箱1杯分の金銭なく金銭での納税をに当たる」として、農

明治七年に起きたワツパ騒動では、多数農民の実力闘争を中央政府への訴願闘争へと導き、勝訴を勝ち取

森藤右衛門略年表（続き）
いったいどんな時代に生きた人物なのか

るのに重要な役割を果たした。そのため全国各地に名を知られ、また各地の自由民権家と交流が始まった。その後、酒田で自由民権運動を組織するとともに、住民の意向を無視する三島通庸県令に反対する活動を繰り広げた。明治十四年に圧倒的な支持を得て酒田戸長に当選した。十七年に県会議員に当選して一年余り、山形市で急死した。満四十三歳だった。

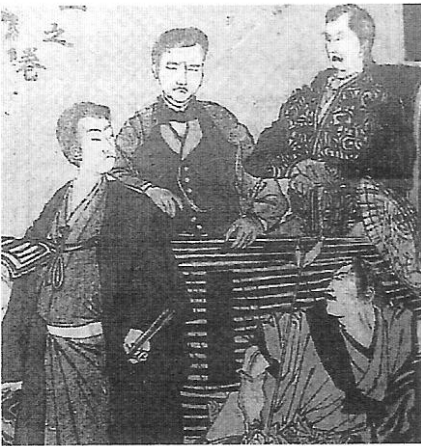
家として名をどろかせ板垣退助、福沢諭吉らとともに民権思想の啓蒙書「民権自由論」の表紙絵を飾ったことでもあったが、時代が下るにつれ忘れ去られ庄内人の記憶の底に埋もれてしまった。

昨年、同市内で俳優菅原文太さんと市出身の評論家佐高信さんの対談で「西の板垣、東の森」と評された」との話が出て、森顕彰の機運に拍車がかかった。庄内一円を巻き込

業者、教育関係者、地元の設立趣意書に方議員ほかワツパ騒動同意し今後、賛同者を募ることを決めた。0人が集まり、熱気で問い合わせは「顕彰する会事務局」（0234・28・8079）者らは「顕彰碑を建立し業績を後世に伝えよへ。」

顕彰する会が発足

酒田出身の優れた自由民権運動家



「民権自由論」の表紙に描かれた森藤右衛門（左）、福沢諭吉（左から2番目）、板垣退助（右）

命日の碑建立を目指す

認められた。ところが当時酒田県は住民に説明せず、コメで納税させ、米価高騰を利用してコメを売り巨額の利益を得ていたことが、74年、庄の様に呈したが、森

社」を創設し自由民権運動を展開、81年には酒田戸長（現酒田市長）に、84年には県議に初

んだ「ワツパ騒動」だけに子孫も多く、話題は口から口へと広がった。

28日に市総合文化センターで開いた設立総会には、郷土史家や農



多くの賛同者が集まった設立総会